

有機
タツプリ

地力の維持増進のために

土作り名人

そして次世代のために

天然腐植酸資材
土作り名人

含有成分(乾物当り)
有機物の含有率80%
有機物中の腐植酸含有率80%

NET 20kg

地力の維持増進のために 土作り名人 そして次世代のために

特長

■有機物が起源

冷涼な湿地帯で数万年の歳月を経て草木質類が堆積、腐熟化した物ですので、環境に優しく、土壌に腐植酸を供給するのに最適です。

■土壌の保肥力向上に

塩基置換容量（肥料吸着力）が高いので保肥力に優れています。また、土壌中の鉄や活性アルミナによる磷酸固定をやわらげ、施肥された磷酸成分を効率的に利用させます。

■下層部まで土壌改良が可能

水に溶解した「土作り名人」の腐植酸は、下層部まで浸透し、心土の改良に役立ちます。また、水溶化していない部分は、上層部に残り、有機物として土壌団粒化、微生物の繁殖などの効果があります。

■塩類濃度障害の軽減に

土壌の緩衝能を高め、塩類濃度障害をやわらげます。

◎土壌に腐植酸を供給しましょう

腐植酸（フミン酸）とは、腐植（Humus）の主要成分で、動植物の遺体が、土の中で分解してできたものです。一定の組成を示さないため、リグニンと蛋白の結合したようなものであるということになっています。

一作ごとに地力となって消えてゆく土壌中の腐植を補うには、堆肥が効果的であり、堆肥は施した分量の1割程度が土壌腐植として残るため、水田には堆肥750kg、果樹園では1年に150kgくらいの腐植が消費すると報告されています。

最近では堆肥の原料の不足と、人手不足とで、堆肥はほとんど作られなくなってきました。試験研究の結果によると水稲一作で67kg、果樹園では1年に100kg、野菜園では1年に150kgくらいの腐植が消費すると報告されています。

土壌中の腐植は2%以下では瘦地であり、少なくとも3%以上なければ、作物の多収は望めません。これを補わなければ、しだいに地力は衰え、土壌は瘦地となっていきます。

腐植酸の効果は堆肥施用の場合と同じように、団粒化の促進、肥料吸収力の増大、土壌の磷酸固定の軽減、キレート作用による磷酸の浸透力の増大、などに有効です。

施用方法

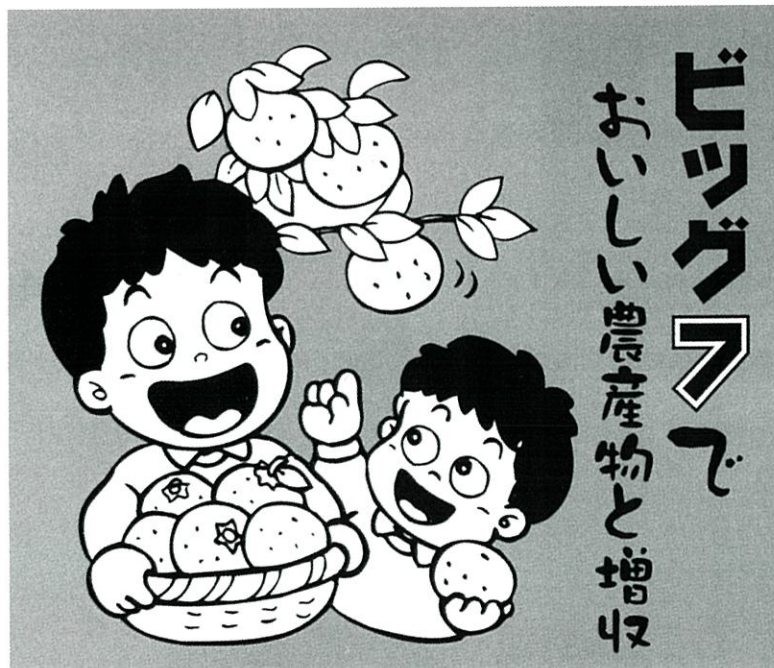
一般的な施用方法は、作物を植え付ける前に「土作り名人」を適量全面散布し、耕起時に土壌とよく混合する全層施用法です。また、追肥時の表層施用、溝施用、畝施用などにも高い効果を発揮しますので、栽培方法に合わせてご利用下さい。

■標準的な施用量（10a当り）

作物の種類	施用量
蔬菜類	5～8袋
果樹類	5～10袋
根菜類	5～10袋
花卉類	4～5袋
茶樹	5～8袋
水稲	3～5袋

※土壌条件に応じて施用量は加減して下さい。

■販売店



腐植酸のはたらき ビッグ7

1) 磷酸固定防止

磷酸の固定化を抑え磷酸の利用率を高めます。

2) 土壌浸透力増大

キレート作用により磷酸の土壌浸透力を増大します。

3) 加里の吸収促進

腐植酸と共存するカリの吸収が旺盛になります。

4) 肥効の持続、流亡抑制

腐植酸によりNPKが吸着保存され、肥効が持続します。

5) 根の伸長促進

腐植酸が根に刺激を与え、伸長促進します。

6) 微量元素の吸収促進

土壌中の微量元素とキレート化合物を作り、吸収を助けます。

7) 土壌微生物の増殖

土壌中の有用微生物を活性化させます。

